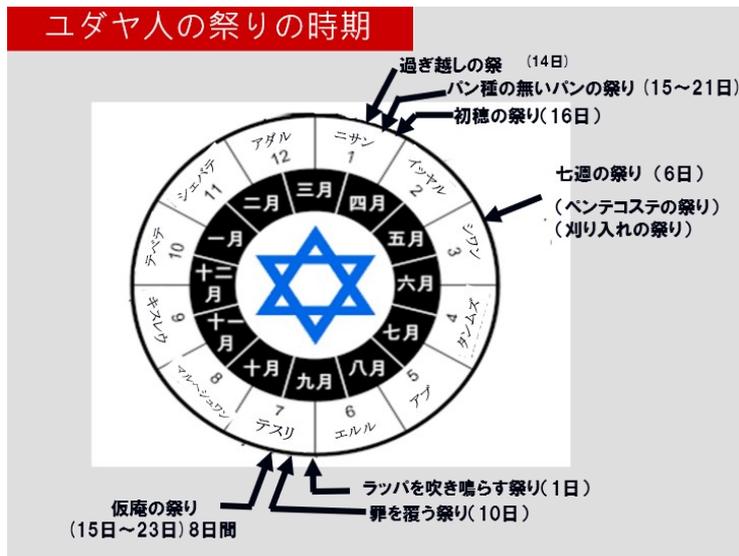


メッセージ 8

キリストは仮庵の祭りであり、
また信者たちから生ける水の川々として流れ出るその霊である

過越しの祭り	仮庵の祭り
ヨハネ第 6 章の事例は過越しの祭りでのこと	第 7 章の事例は仮庵の祭りでのこと
過越しの祭りはユダヤ人の毎年の最初の祭り	仮庵の祭りは彼らの毎年の最後の祭り
それは人生の開始を暗示し、 人が満足を求めた結果は飢餓であると言う	人の一生の成就と成功を暗示し、 それは乾きという終わりとなる
主はご自身を人の飢餓を満たす、 命のパンであると言われた	主は、人の渇きをいやす、 生ける水を流し出すことを約束された



(アウトラインの主要な項目と重要なみ言葉)	
キリストは仮庵の祭りである	<p>レビ 23:39 あなたがたは地の産物を集め終わった第七の月の十五日から七日間、エホバの祭りを守らなければならない。</p> <p>レビ 23:43 「イスラエルの子たちに語って言いなさい、『この第七の月の十五日は、七日間にわたるエホバへの仮庵の祭りである。』</p>
キリストは信者たちから生ける水の川々として流れ出るその霊である	<p>ヨハネ 7:02 時に、ユダヤ人の仮庵の祭りが近づいていた。</p> <p>ヨハネ 7:37-38 祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って叫んで言われた、「だれでも渇く者は、わたしに来て飲むがよい。わたしの中へと信じる者は、聖書が言っているように、その人の最も内なる所から、生ける水の川々が流れ出る」。</p> <p>ヨハネ 7:39 イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったため、その霊はまだなかったからである。</p>

I	キリストは仮庵の祭りである	A	過越しの祭りと仮庵の祭りが表徴する 意義 、 (法理的贖いの開始として、有機的な救いの完成としてのキリスト)
		B-C	神が仮庵の祭りを設立した 目的 : 享受、記念、ブレンディング
		D-E	仮庵の祭りの 実際 としてのキリストを享受する
		F-G	祭壇と天幕の 生活 をする
II	キリストは信者たちから生ける水の川々として流れ出るその霊である	A	命を与える霊は 究極的完成の霊 である
		B	命を与える霊は 複合の霊 である
		C-D	命を与える霊は 主なる霊 である

第8週 キリストは仮庵の祭りであり、また信者たちから生ける水の川々として流れ出るその霊である				
日	段落	流れ	主題	要点
1	キリストは仮庵の祭りである	意義と目的	仮庵の祭りの意義と目的	過越しの祭りと仮庵の祭りが表徴する意義、神が仮庵の祭りを設立した目的
2		享受と実際	仮庵の祭りの実際としてのキリストを享受する	仮庵の祭りの実際は記念し、享受する時です 仮庵の祭りとしてのキリストを享受し、団体的にブレンディングされる
3		祭壇と天幕の生活	祭壇と天幕の生活	祭壇と天幕に意義 アブラハムの信仰の足跡を歩く
4	キリストは生ける水の川々としてのその霊である	究極的完成の霊	命を与える霊は究極的完成の霊である	三一の神はエコノミーの中で手順を経て、究極的に完成される 究極的に完成された霊は「まだなかった」
5		わたしたちの中で	究極的に完成された霊が弟子たちの中へと息吹き込まれる	復活の中で究極的に完成された霊は弟子たちの中へと息吹き込まれた キリストは、わたしたちの中で成就されたその霊です
6		複合の霊主なる霊	命を与える霊は複合の霊、主なる霊である	命を与える霊は複合の霊です 命を与える霊は主の霊である

メッセージ 8

キリストは仮庵の祭りであり、
また信者たちから生ける水の川々として流れ出るその霊である
聖書：ヨハネ 7:2, 37-39. レビ 23:39-43

啓示: 仮庵の祭りとしてのキリストを享受する

わたしたちが仮庵の祭りとしてのキリストを享受することは、
神の有機的な救いを経験し、新エルサレムという永遠の幕屋において究極的に完成される
祭壇と天幕の生活をし、神に対して満ち満ちた享受を持つことです。
それが、真の仮庵の祭りです。

I. わたしたちはキリストを仮庵の祭りとして享受することができます——ヨハネ 7:2.
レビ 23:39-43 :

* 仮庵の祭りの意義—法理的な面における贖い/有機的な面における全き救い

A. 過越しの祭りが表徴するのは、法理的な面における神の贖いの開始としてのキリストです。仮庵の祭りが表徴するのは、有機的な面における神の全き救いの完成としてのキリストです——ヨハネ 6:4, 7:2. レビ 23:5, 34。

* 仮庵の祭りの目的——享受、記念、ブレンディング

B. 神が仮庵の祭りを設立したのは、父祖たちが荒野でさまよっている間にどのように天幕（幕屋）の中に住んだかを、イスラエルの子たちが記念するためです。仮庵の祭りという名称の「仮庵」という言葉は、記念の思想を暗示します——申 16:13-15。

C. この祭りのために彼らが共に来て神を礼拝し、良き地の産物を享受することは、ブレンディングの真の絵です。

仮庵の祭りとしてのキリストを享受する

* 仮庵の祭りの実際は、記念し享受する時であり、

D. 仮庵の祭りの実際は享受の時であり、わたしたちがどのように神を経験したか、神がどのようにわたしたちと共に住んだかを記念することです。

* 団体的に来て、共にブレンディングされることです。

E. 今日わたしたちがキリストを仮庵の祭りとして享受し、ブレンディングのために団

体的に共に来て、良き地の産物としてのキリストの豊富を享受することは、わたしたちがまだ荒野におり、永遠の幕屋である新エルサレムの安息の中へと入る必要があることを思い起こさせます——啓 21:2-3。

祭壇と天幕の生活をする

*勝利者が天幕において生活することである

- F. 新エルサレムが神の幕屋と呼ばれるのは、第一の段階における新エルサレムの勝利者たちが、どのように彼らも天幕に住み、地上で旅人また寄留者として生き、永遠の幕屋、すなわち神が建てた都、神と人の相互の住まいを待ち望んだかを記念するためです——ヘブル 11:9-10, 13。

アブラハムの信仰の足跡に従って祭壇と天幕の生活をする

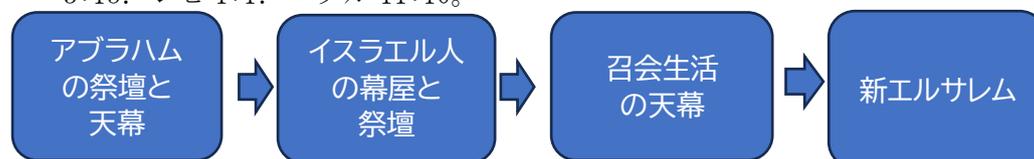
*アブラハムの信仰の足跡を歩く

- わたしたちはアブラハムの信仰の足跡を歩こうとするなら、祭壇と天幕の生活をし、キリストをわたしたちの命とし、召会をわたしたちの生活としなければなりません——ローマ 4:12. ヘブル 11:9. 創 12:7-8. 13:3-4, 18 :
 - 祭壇を築くことは、わたしたちの生活が神のためであること、神がわたしたちの命であること、わたしたちの生活の意義が神であることを意味します——出 40:6, 29. 詩 43:4 前半. レビ 1:3, 9。
 - アブラハムが天幕に住んだことは、彼がこの世に属しておらず、地上で寄留者の生活をしたことを証しました。天幕を立てることは、わたしたちがこの世に属していないこと、別のふるさとに属していることの表示、宣言です——ヘブル 11:9-10, 15-16。
- わたしたちはアブラハムの真の子孫として (ガラテヤ 3:7)、地上で旅人となり、彼が行なったように移住し、わたしたちの天幕を張るべきです (ヘブル 11:9, 13. I ペテロ 2:11)。

アブラハムは三つの地方に三つの祭壇を築いた

シケム /ベテル/ ヘブロン

- アブラハムは彼の第一の祭壇を築いた後 (創 12:7)、ベテルとアイの間に第二の祭壇を築きました。ベテルとアイは互いに相対しています (8 節) :
 - 「ベテル」**は「神の家」を意味し、「アイ」は「崩壊の堆積」を意味します。
 - 召された者の目に、**ベテル**、すなわち**召会生活**だけが価値のあるものです。他のあらゆるものは崩壊の堆積です。
- アブラハムには失敗があり、祭壇と天幕を放棄しました。しかしながら、彼には回復がありました。回復とは、祭壇と天幕に戻って主の御名を呼び求めるという事柄です——9-10 節. 13:3-4. ローマ 10:12-13. 12:1-2。
- 最終的に、**ヘブロン**でアブラハムの天幕は、彼が神と交わりを持った場所、また神が彼と交わることができた場所となりました——創 13:18。
- アブラハムの天幕と彼が築いた祭壇は、イスラエルの子たちが建造した証しの幕屋と祭壇の予表でした——出 38:21。
- アブラハムは他国人また寄留者であり、「土台のある都を熱心に待ち望んでいた……その設計者と建築者は神です」——ヘブル 11:9-10, 12-16。
- アブラハムの天幕は、新エルサレムの縮図でした。新エルサレムは、究極の天幕、神の究極の幕屋です——創 9:26-27. 12:8. 13:3. 18:1. 啓 21:2-3。
- わたしたちは召会生活の「天幕」の中で生きているとき、その究極的な完成、すなわち究極の「集会の天幕」、新エルサレムを待ち望んでいます——I テモテ 3:15. レビ 1:1. ヘブル 11:10。



- G. 仮庵の祭りは新エルサレムの享受です。新エルサレムは最初に究極的に完成されて、勝利者への褒賞としての千年王国における初穂となり、それから最終的に究極的に完成されて、新天新地において、すべての成就された信者たちへの神の全き救いの満ち満ちた享受となります。

経験：生ける水の川々が流れ出る、その霊としてのキリストを享受する

今日、キリストは復活の中で命を与える霊と成って、この内住する、複合の、油塗る主なる霊で、わたしたちは浸透され、更新され、造り変えられ、そしてわたしたちの内側から生ける水の川々が流れ出て、飢えた人々を供給して、神の建造を完成します。

- II. キリストは最後のアダムとして、彼の復活を通して、また彼の復活の中で、命を与える霊と成って、命を分け与え、彼の信者たちの中へと入って、生ける水の川々として流れ出ました——ヨハネ 7:37-39. 啓 21:6. 22:17 :

***命を与える霊は究極的に完成された霊です**

- A. 命を与える霊は、究極的に完成された霊、すなわち手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成です——Ⅱコリント 3:17-18. ガラテヤ 3:14. ピリピ 1:19 :

***手順を経て究極的に完成される**

1. 究極的に完成された霊は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活の過程を経過した後の三一の神です——ヨハネ 7:39 :
 - a. 三一の神がその霊と成るために経過した過程は、エコノミー上の事柄であって、本質上の事柄ではありません——1:14. ヘブル 9:14. Iコリント 15:45 後半.
 - b. 「手順を経て」は、三一の神が神聖なエコノミーにおいて経過した段階を指しています。「究極的に完成された」は、手順が完了したことを示しています。「究極的に完成された霊」は、神の霊が手順を経て、究極的に完成された霊と成ったことを暗示しています——ヨハネ 7:39.

その時には、その霊はまだなかった

2. 主イエスが十字架につけられ、復活させられる前、究極的に完成された霊は「まだなかった」のです——39 節 :
 - a. 神の霊は初めからありましたが（創 1:2）、「キリストの霊」（ローマ 8:9）としてのその霊、「イエス・キリストの霊」（ピリピ 1:19）としてのその霊は、ヨハネ第 7 章 39 節の時には「まだなかった」のです。なぜなら、まだ主イエスの栄光が現されていなかったからです。
 - b. 主イエスは復活させられた時、彼の栄光が現されました。このように栄光を現すことを通して、神の霊は、肉体と成って十字架につけられ復活させられたイエス・キリストの霊と成りました——ルカ 24:26. ピリピ 1:19.
 - c. 最後のアダム、すなわち、肉体におけるキリストは、復活において命を与える霊と成りました。その時から、イエス・キリストの霊は、神聖な要素と人に属する要素の両方を持っており、キリストの肉体と成ること、十字架、復活の実際を含んでいます——Iコリント 15:45 後半. 使徒 16:7. ローマ 8:9.

御子は復活の中で息吹き込まれた

3. 御子は復活の中で、究極的に完成された霊を聖なる息として、弟子たちの中へと息吹き込みました——ヨハネ 20:22 :
 - a. ヨハネによる福音書が啓示しているのは、キリストが肉体と成って神の小羊となったこと、復活の中で命を与える霊と成ったことです。こうして、彼は復活の中で、ご自身を究極的に完成された霊として、弟子たちの中へと息吹き込みました——1:29. 20:22.
 - b. 彼はその霊として、弟子たちの中へと息吹き込まれました。彼はその霊として、弟子たちの中に生きることができ、また弟子たちは彼によって、彼と共に生きることができ、また弟子たちは彼の中に住むことができます——22 節. 14:19-20. 15:4-5.

c. ご自身を弟子たちの中へと息吹き込んだキリストは、命を与える霊です—— I コリント 15:45 後半。

【朝ごと食物 第5日 142P より】

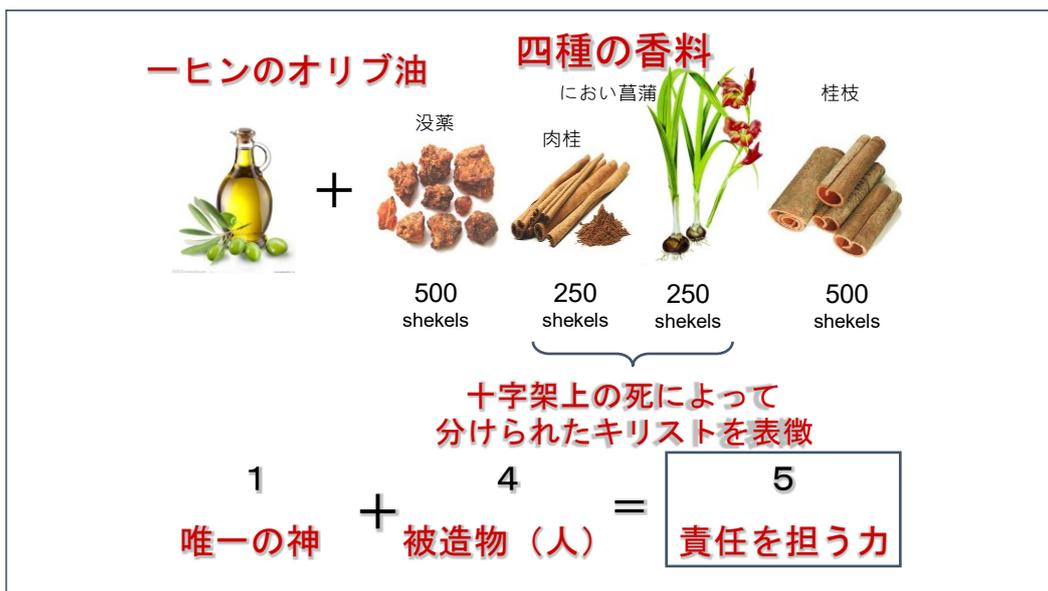
その霊が信者たちの中で成し遂げてきたこと・・・

- ① 信者たちの中に**受け入れられ**、そして生ける水の川々のように**流れ出る**ことができます (ヨハネ 7:38-39)。
- ② 慰め主として彼らの中に**住みます** (24:16-17)。
- ③ 弟子たちの中に**生き**、弟子たちも彼のゆえに生き、彼と共に生きることができます (19 節)
- ④ 弟子たちの中に生き、弟子たちも彼の中に**住む**ことができます (20 節、15:4-5)。
- ⑤ 御父と共に、彼を愛する者に来て、彼と共に**住まいを造る**ことができます (14:23)。
- ⑥ 彼であるすべてと、彼が持っているすべてを、弟子たちによって完全に**実際化**させることができます (16:13-16)
- ⑦ 彼の兄弟たち**共に集まり**、御父の御名を兄弟たちに言い表し、賛美の歌を御父に歌うことができます (パブル 2:11-12)。
- ⑧ 彼らの命とすべてを、彼の委託(使命)のために**遣わす**ことができます (ヘブル 20:21)

***命を与える霊は複合の霊です**

B. 命を与える霊は複合の霊であり、それは複合の油塗る膏油とその各種の成分によって予表されています——出 30:23-25. I ヨハネ 2:20, 27 :

1. オリーブ油は、神性を伴う神の霊を表徴します。
2. 没薬は、キリストの尊い死を表徴します。
3. 肉桂は、キリストの死の甘さと効力を表徴します。
4. 菖蒲は、キリストの尊い復活を表徴します。
5. 桂枝は、キリストの復活の駆逐する力を表徴します。



***命を与える霊は主なる霊です**

C. 命を与える霊は、主なる霊、すなわち、霊なるキリストです。それは信者たちを新陳代謝的に造り変えて、キリストのからだを成長させ建造するためです—— II コリント 3:17-18. I コリント 3:6, 9 後半, 12 前半. エペソ 4:16 後半。

D. 正常なクリスチャン生活は、わたしたちがその霊を認識し経験することにかかっています。キリストが命を与える霊でなければ、わたしたちは神のエコノミーにおいて神のいかなるものも経験することができません—— I ヨハネ 5:6. ヨハネ 16:13. I コリント 15:45 後半. 2:10. 6:17。

【まとめ】

召会生活という天幕の中に住み、そして飢えている人に供給する

享受する中で、記念し、共に来てブレディングされる（記念、享受、ブレディング）	一年に7回の特別集会、訓練において享受する中で、ブレディングされる（神聖な真理の高嶺）
わたしたちは祭壇と天幕の生活をする必要があります	神のために、この世に属さない（神・人の生活）
生ける水の川々として流れ出る、その霊を経験する	行って、飢えている人たちを供給する（神にしたがって牧養する）